基本戦略1　知る　　基盤となる情報の継続的な収集・整備

Ⅰ 個別の事業ごとの実施状況
1. 生物多様性に関する情報の収集・発信の体制構築
1) 情報の収集・発信の核となる体制の構築

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	環境共生課：情報の収集・発信の核となる体制の構築等（庁内への定期的な関連調査の照会とデータ提供依頼、データベースの整理） 博物館：生物等に関わる専門的調査や助言及び関連論文等の収集 環境総合センター：地域の生物多様性や環境問題についての体験学習による情報発信等 動植物園：生物の展示や解説、また絶滅危惧種の域外保全の取組等を通して、熊本の生物多様性に関する普及啓発・情報発信等。	熊本市全域	・庁内の関係各課に対して、関連事業の進捗状況調査を実施した。 ・熊本博物館、環境総合センター、動植物園の4課で集まり、生物多様性の推進に向けた協議の場（4課連携プロジェクト）での協議を継続し、生物多様性に関する知識や環境教育の手法に関するスキル向上を目的とした担当者研修を実施（オオキンケイギク駆除、江津湖の水生生物観察会）。 ・熊本の自然環境や市民活動に関する情報発信の拠点として、多くの人が訪れる熊本市動植物園（動物資料館）に、生物多様性情報コーナーを設置（常設）。	・庁内の関係各課に対して、関連事業の進捗状況調査を実施予定。 ・熊本博物館、環境総合センター、動植物園の4課で集まり、生物多様性の推進に向けた協議の場（4課連携プロジェクト）での協議を継続し、生物多様性に関する知識や環境教育の手法に関するスキル向上を目的とした担当者研修を実施予定（身近な外来種）。 ・熊本の自然環境や市民活動に関する情報発信の拠点として、熊本市動植物園（動物資料館）に、生物多様性情報コーナーを設置。 ・水辺のインフォメーションセンターについても活用を検討する。	0	0	・イベント等の開催方法については、新しい生活様式に適応した検討が必要。 ・熊本博物館や動植物園マスタープランの策定等を踏まえ、情報の蓄積・収集・発信の手法等を含めた体制の検討が必要。 ・4課連携プロジェクト以外の部署（区役所等）との連携・各部署での取組に関する情報共有の推進が課題。 ・熊本市動植物園（動物資料館）以外にも、新しく出来た「水辺のインフォメーションセンター」などに生物多様性情報コーナーが設置できないか検討が必要。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局 経済観光局 教育委員会	環境共生課 環境総合センター 動植物園 熊本博物館
			江津湖一帯 金峰山系	江津湖に生息する生物のモニタリングと情報収集を実施。 5月から12月の間、金峰山某所で自動撮影装置による哺乳類モニタリングを実施。	江津湖に生息する生物のモニタリングと情報収集を実施する。 5月から12月の間、金峰山某所で自動撮影装置による哺乳類モニタリングを実施する。	0	0	江津湖に関しては、環境共生課と協働して実施する魚類調査に加え、他の生物の調査や情報収集は随時実施していく。 金峰山に関しては、これまでどおり主に自動撮影装置を用いて実施する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館
		独自の環境ポータルサイトを立ち上げ、市民への情報提供のほか、情報把握等ができる環境整備を行う。	熊本市全域	市ホームページ環境局サイトの随時更新を行い、市民等への情報発信・提供を実施。	引続き情報発信に努めるとともに、市ホームページ環境局サイトのさらなる充実を図り、閲覧者の利便性向上とアクセス数アップを目指す。	0	0	市ホームページ環境局サイトのさらなる充実を図り、閲覧者の利便性向上とアクセス数アップを目指す。	休止		リニューアル	→	→	→	→	→	無	環境局	環境政策課

2) 市民が活用できる情報の収集・共有方法（いきものマップなどの地図化、ウェブサイトでの発信等）の検討

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	市内に生息するいきものの情報を一元化して庁内GISに落とし込み、環境に配慮した工事施工や樹木剪定の際の指導をおこなう。	熊本市全域	・収集した情報の可視化を庁内GISで検討した。 ・市民参加型セミ調査の結果をHP上に公開した。	収集した情報の可視化を庁内GISで試行する。	0	0	情報の収集、関係各課への周知が必要。 庁外に対し、どこまで公開すべきか検討が必要。						検討	試行	実施	無	環境局	環境共生課

2. 生物多様性に関する情報の整理・分析
1)「みんなで未来に残したい熊本市の自然環境」に関する既存情報の整理・分析

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
※検討中		既存文献の収集・データの把握（H26年度に実施した基礎調査をベースに新規情報については、専門家の活用、進捗管理における庁内への照会等の中で収集を行うなど）	熊本市全域	収集した情報の可視化を庁内GISで検討した。	収集した情報の可視化を庁内GISで試行する。	0	0	・収集した情報の可視化を庁内GISで行う。公開については検討が必要。	―	検討	→	→	→	→	試行	実施	無	環境局	環境共生課

2) 絶滅危惧種（熊本県のレッドリスト掲載種）の生息・生育情報の整理

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
※検討中		県との連携、専門家会合（ネットワーク）の活用、市民情報との連動。	熊本市全域	検討中。	立田山トンボ池の浚渫工事について検討していく。	0	0	情報の整理は必要だが、優先順位を付け、取組を進めていく。特に、絶滅危惧種に関する情報の取扱いについて、検討が必要。	―	検討	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

3) 特に対策が必要な侵略的外来種についての市内における分布、新たな侵入情報の収集

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	特定外来生物のアライグマによる被害防止を目的とした分布の把握及び侵入監視のための生息調査及び情報収集	熊本市全域	・自動撮影カメラによる生息状況調査を実施（R3年4月～R4年2月）し、合計5頭捕獲した。 ・熊本連携中枢都市圏で調査を実施した。 ・市ホームページへの記事掲載やチラシ等、イベントでの展示等により、市民への周知と情報収集を行った。 ・市民からの相談や情報提供については、必要に応じ、関係部署と連携した対応を行った。	・引き続き、自動撮影カメラによる生息状況調査と、確認された地点においては箱わなによる捕獲調査を実施する。 ・熊本連携中枢都市圏で調査を実施予定。 ・市ホームページへの記事掲載やチラシ等、イベントでの展示等により、市民への周知と情報収集を行う。 ・市民からの相談や情報提供については、必要に応じ、関係部署と連携した対応を行う。 ・アライグマ防除に関する会議や講習会等に参加し、情報収集に努める。	3,500	3,460	・市内（特に北区植木町）での生息確認件数が増加している一方、中心部付近での捕獲が相次いだ。生息数の増加、分布の拡大及びそれに伴う被害の発生が懸念されるため、今後も継続して監視を行う必要がある。 ・ホームページやイベント等での周知や情報収集を行うと共に、関係機関と連携し、市民からの通報に対し、柔軟に対応できるよう防除体制を引き続き検討する。 ・研究機関や活動団体、学校、地域などと連携した、より広い情報収集体制の構築に努める必要がある。 ・周辺地域（特に県北地域）での生息確認が増加しており、連携した情報共有・防除体制の構築が課題である。	検討	講習会実施・監視体制構築	実施	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

自然環境保全事業	自然環境保全経費	スパルティナ・ヒアリ・クリハラリス等の特定外来生物について、分布情報の把握及び市民からの相談対応	熊本市全域	・スパルティナについては、引き続き対策協議会への参加して分布状況を把握する。 ・ヒアリについては、引き続き生活衛生課及び熊本博物館と連携した市民相談対応及び情報収集を行う。その他の特定外来生物についての市民からの相談や情報提供については、必要に応じ、関係部署と連携した対応を行う。 ・熊本港において、トラップ設置によるツマアカスズメバチの生息調査（侵入監視）を実施した。 →ヒアリ、ツマアカスズメバチ共に侵入は確認されなかった。	・スパルティナについては、引き続き対策協議会への参加して分布状況を把握する。 ・ヒアリについては、引き続き生活衛生課及び熊本博物館と連携した市民相談対応及び情報収集を行う。その他の特定外来生物についての市民からの相談や情報提供については、必要に応じ、関係部署と連携した対応を行う。 ・熊本港において、トラップ設置によるツマアカスズメバチの生息調査（侵入監視）を継続する。	0	0	引き続き侵入監視を行うと共に、市民からの通報に対し、関係機関と連携した対応を行う。	検討	実施	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
安定した農業生産・集出荷の推進及び鳥獣による市民への直接の被害防止	農作物鳥獣被害対策事業、鳥獣被害対策事業（生活被害対策）	農作物被害や生活被害を及ぼすイノシシをはじめとした鳥獣類の駆除のほか、県や他市町村、環境局と連携しクリハラリスやアライグマなどの外来生物の侵入を監視。特に、アライグマの生息が確認されている地区においては、農業者や関係機関の普及員、営農指導員、駆除隊と連携し、目撃情報や疑わしき被害などの情報収集に努め、監視体制の構築を図る。	熊本市全域	アライグマについては、環境局が取組む生息状況調査を注視するとともに、農業者、農業団体、駆除隊などに対して、特徴・見分け方等を周知し、発見時の情報提供を呼びかける。また、目撃情報や疑わしき被害が寄せられた場合は、環境局と連携し、現地確認・調査等を実施。 鳥獣被害対策については、今後も地域の農区や自治会、住民を対象とした勉強会等を開催し、鳥獣に対する知識を深めることで、集落や住宅地に鳥獣が出没しない環境を構築し、地域ぐるみの対策に取り組む。加えて、駆除隊と連携・協力し、鳥獣の捕獲による個体数管理に取り組む。	アライグマについては、環境局が取組む生息状況調査を注視するとともに、農業者、農業団体、駆除隊などに対して、特徴・見分け方等を周知し、発見時の情報提供を呼びかける。また、目撃情報や疑わしき被害が寄せられた場合は、環境局と連携し、現地確認・調査等を実施する。 鳥獣被害対策については、今後も地域の農区や自治会、住民を対象とした勉強会等を開催し、鳥獣に対する知識を深めることで、集落や住宅地に鳥獣が出没しない環境を構築し、地域ぐるみの対策に取り組む。加えて、駆除隊と連携・協力し、鳥獣の捕獲による個体数管理に取り組む。	9,310	9,310	今後も引き続き、アライグマの目撃情報や生息痕跡等の収集に努め、関係部局との情報共有を図り、被害防止対策を進める。 住宅地、通学路等におけるイノシシやシカ等の野生動物の出没件数が増加していることから、今後も引き続き関係機関と連携し被害未然防止対策の普及・啓発に努めるとともに、捕獲による個体数管理に取り組む。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	農業支援課鳥獣対策室

3．生物多様性に関するモニタリング・調査の実施

1）既存のモニタリング等の継続的な実施（水質・水量モニタリング調査等）

									今後のスケジュール（予定）										
事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
公共工事等整備にあたっての環境調査	広域河川改修経費	公共工事等整備にあたっての事前環境調査の実施	熊本市全域	―	―	0	0	新規事業の計画段階では河川環境調査を行い、河川の特性・環境に配慮した整備計画を立案する。	随時	→	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課
水前寺江津湖公園外来植物分布調査	公園維持管理経費（政策）（H25年度～H27年度）	水前寺江津湖公園の湖面及び水辺に繁茂する外来植物について現況把握のための調査を実施。（H25年度～H27年度）	水前寺江津湖公園区域の水面	－	－	0	0	H25、26、27の実施を踏まえ、今後は経過観測を行う。	経過観測	→	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課

									今後のスケジュール（予定）										
事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
下水道施設の維持管理	下水道事業会計	・河川環境調査 浄化センターから放流される処理水が、放流先河川の自然環境へ与える影響を把握するため、環境調査（魚類調査）を実施。	木山川（江津湖地域の一部）	環境局の事業に負担金を支出	環境局の事業に負担金を支出	1,770	1,900	浄化センター放流口における魚類調査については、事業の効率化を図るため、平成29年度から環境局が実施する「江津湖地域における外来魚駆除及び魚類生息状況調査」と一元化を行う協定を結んだ。この協定に基づき今後も事業費の一部負担を継続する。	一元化し継続	→	→	→	→	→	→	→	無	上下水道局	水再生課
水質保全対策事業	公共用水域水質監視経費	水質汚濁防止法に基づき、公共用水域（河川・海域）の水質の汚濁の状況を調査し、市域の公共用水域の環境基準適合状況等を把握する。	熊本市全域	河川は27地点（環境基準点8地点・補助点19地点）、海域は4地点で水質（一部底質）調査を実施している。	河川は27地点（環境基準点8地点・補助点19地点）、海域は4地点で水質（一部底質）調査を実施予定。	3,328	3,380	継続して調査を実施し、公共用水域の水質の状況を把握していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
水質保全対策事業	地下水質監視経費	水質汚濁防止法に基づき、地下水の水質調査を実施し、市域の地下水の水質の状況を把握するとともに、地下水汚染地域の継続的な監視を行う。	熊本市全域	延べ409本の井戸で水質の調査を実施している。	延べ409本の井戸で水質の調査を実施予定。	2,981	3,037	継続して調査を実施し、地下水の水質の状況を把握していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	硝酸性窒素濃度10mg/Lを超過した井戸の割合5%以下（R1）	環境局	水保全課
水質保全対策事業	化学物質汚染調査経費	ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、公共用水域、地下水及び土壌中のダイオキシン類の調査を実施する。	熊本市全域	ダイオキシン類は、河川2地点、海域1地点、地下水2地点、土壌2地点において調査を実施している。	ダイオキシン類は、河川2地点、海域1地点、地下水2地点、土壌2地点において調査を実施予定。	1,447	1,584	継続して調査を実施し、ダイオキシン類の状況を把握していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
地下水量保全対策経費	・地下水位観測経費	地下水保全のため地下水位の状況を常に監視するとともに、収集されたデータは将来の地下水利用に関する予測調査を行ううえで解析等に積極的に利用できるものである。 現在、市内20地区に観測井戸を設置し、地下水位の観測を行っている。	熊本市全域	観測業務を委託し、年間を通し、市内20地区の観測井の維持管理及び地下水位の観測を行った。	市内20地区の観測井の維持管理を年間を通し実施予定。	4,064	4,046	測定機器類の老朽化が著しいため、観測データの信頼性確保のため、機器の更新が必要。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
地下水量保全対策経費	・地下水採取量調査経費	熊本県及び熊本市地下水保全条例に基づく井戸の届け出が約2,200本存在し、郵送による調査を行っている。市内の地下水採取に関する用途とその採取量を全て把握することで地下水量の監視を行うもの。	熊本市全域	年度当初に報告書を発送し、未提出者に対しては、職員による電話及び訪問にて報告書の提出を促し、地下水採取量の把握に努めた。また、大規模採取者や県条例の許可者に対し、かん養計画書や節水計画書等の提出をあわせて依頼した。	年度当初に報告書を発送し、未提出者に対しては、職員による電話及び訪問にて報告書の提出を促し、地下水採取量の把握に努める。また、大規模採取者や県条例の許可者に対し、かん養計画書や節水計画書等の提出をあわせて依頼する。	0	0	予算・人員ともに減少し、事務作業を直接職員が行っているが、報告書の回収率が下がらないようにすることが重要である。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課

2) 効果的なモニタリング手法の検討と継続的な実施による情報の蓄積（指標となる生物種の設定など）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	本市の自然及び環境の変化等を長期的に見ていくため、指標種を設定し、その効果的なモニタリング手法等について検討するとともに、継続的なモニタリングの実施による情報蓄積の仕組みを構築する。	熊本市全域	2団体の協力をいただいてホタル類、カヤネズミ、アカガエルのモニタリング結果をとりまとめ、把握した。	現在調査を行っているものについては継続しつつ、指標種モニタリングの対象種・対象地を拡大予定。	0	0	活動団体及び市民に協力していただき、さらなる情報を蓄積する。 市民団体への協力が必要不可欠。	検討	検討・試行	→	実施	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

3) 市民参加型の生物多様性のモニタリングの検討・実施

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	市民や活動団体と連携・協働し、自然環境のタイプを代表する指標種についての継続的なモニタリングを行う。	熊本市全域	・市民参加型として、セミのモニタリングを実施（R2.7.5～R2.9.10）。1094件の調査報告があった。 ・調査の報告方法として従来の紙ベースの報告書に加え、PCやスマホからも報告できるようにした。	市民参加型として、セミのモニタリングを実施予定（7月から9月頃）。 指標種モニタリングにタンポポ類・・ホタル類を追加し、試行予定。	374	360	次年度以降はセミ以外にも試行的に指標種モニタリングの実施予定。（候補種：タンポポ類・ホタル類） より多くの市民に参加をしてもらうための取組の検討が必要。	検討	検討・試行	→	実施	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

基本戦略2　学び、つながる　　生物多様性の認識の向上、連携体制の構築

Ⅰ 個別の事業ごとの実施状況
1．.生物多様性の認識の向上
1）熊本市の特徴を踏まえた普及啓発ツール・学習プログラムの作成や、生物多様性に関するイベント・出前講座、自然体験ができる学習等の実施
（環境フェア、動植物園等を活用した普及啓発、出前講座や勉強会、公園における自然体験等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	環境フェアのブースやその他活用した普及啓発の実施、生物多様性に関する普及啓発ツールの作成	動植物園ほか	・R3年5月22,23日に動植物園で生物多様性の日イベント「いきものフェアくまもと2021」を開催（4課連携プロジェクト）予定だったが、新型コロナの影響で中止。 ・生物多様性副読本「いきものさがし」はデジタル版の発行（HPでの公開）とし、冊子での配布は廃止した。 ・市ホームページ環境局サイトに、生物多様性に関する情報（イベント・環境教育・自然体験・活動団体紹介等）を随時掲載した。 ・ニュースレター「生物多様性くまもとCだより」発行した（第7号、第8号）。	・R4年5月22,23日に動植物園で生物多様性の日イベント「いきものフェアくまもと2022」を開催（4課連携プロジェクト）予定。 ・副読本を活用した出前講座を要望に応じ開催する。 ・市ホームページ環境局サイトに、生物多様性に関する情報（イベント・環境教育・自然体験・活動団体紹介等）を随時掲載する。 ・ニュースレター「生物多様性くまもとCだより」発行する。	648	343	・生物多様性の日イベントは4課連携プロジェクトにおいて、今後も継続して実施する。その他様々な機会を活用して、普及啓発を行っていく。 ・4課連携プロジェクト以外の部署（区役所等）との連携・各部署での取組に関する情報共有の推進が課題である。 ・今後も市ホームページ環境局サイトやSNS、市施設を活用した情報発信を行っていく。	継続（一部検討）	→	→	→	いきものフェア中止	いきものフェア中止	→	→	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	森林学習館管理経費	金峰山・森林学習館の運営、効果的な活用	北区貢町小萩	指定管理により運営。 随時、展示館に生物多様性に関するチラシ、書籍を設置し啓発に努めるとともに、自然散策会や豊かな地下水を育む森づくりの学習会等を実施。	引き続き、指定管理により運営。 随時、生物多様性に関する啓発、自然散策会や豊かな地下水を育む森づくりの学習会等を実施。また、全国都市緑化くまもとフェアの広報と、フェア後は振り返りの報告コーナーを設置予定。	4,099	4,099	R2～4年度の3年間を指定管理により運営。 今後も利用者増加に努めるとともに、生物多様性の啓発に努める。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
1人1緑化事業	全国都市緑化フェア準備経費	緑の検定テキストブック作成及び緑の検定の実施	熊本市全域	緑の検定テキストブックの微修正及び第3回　緑の検定の実施を予定していたが、 新型コロナの影響を鑑みて、中止した。	みどりの検定テキストブックの増刷を実施。みどりの検定自体は、廃止。	2,590	300	みどりの検定廃止に伴い、テキストブックの位置づけを再度検討したうえで、増刷し、活用を図る。				テキスト作成＋第1回検定の実施	テキスト微修正＋第2回検定の実施	テキスト微修正＋第3回検定の実施	みどりの検定廃止・テキスト増刷		無	環境局	環境共生課
環境啓発事業	市民啓発経費	科学的な体験学習や自然観察会を開催するとともに、出前講座への講師の派遣等、教育現場や地域活動における環境学習を積極的に支援する。	江津湖金峰山その他河川・湧水地等	新型コロナウイルス感染症の検査実施の影響により事業休止中。	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の手法での事業実施が難しい状況が続いている。事業再開のために、新しい生活様式に対応した実施方法を確立したい。	827	645	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の手法での事業実施が難しい状況が続いている。事業再開のために、新しい生活様式に対応した実施方法を確立したい。	事業は継続するが、一部中止	継続	継続	→	一部廃止 休止	休止	再開	→	各回定員30名程度	環境局	環境総合センター
環境啓発事業	市民啓発経費	科学的な体験学習や自然観察会を開催するとともに、出前講座への講師の派遣等、教育現場や地域活動における環境学習を積極的に支援する。	環境総合センター敷地内	新型コロナウイルス感染症の検査実施の影響により事業休止中。	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の手法での事業実施が難しい状況が続いている。事業再開のために、新しい生活様式に対応した実施方法を確立したい。	827	645	新型コロナウイルス感染症の影響により、従前の手法での事業実施が難しい状況が続いている。事業再開のために、新しい生活様式に対応した実施方法を確立したい。	検討	検討	継続	→	休止	休止	再開	→	参加総数300名	環境局	環境総合センター
水産業地域交流促進事業	市民と水産業の交流促進事業	小学生を主な対象とした出前講座を実施することで、市民と漁業者との交流促進や水域環境の保全への意識啓発を図る。	市内小学校	熊本市の水産業についての出前講座を実施。 新型コロナウイルス感染症対策のため、ICTを活用した遠隔で実施。 対象： 奥古閑小学校5年生20名 教員　2名	熊本市の水産業について、ICTを活用した遠隔での出前講座を実施予定。 対象：小学校高学年 人数：40～60名程度	78	106	・出前講座については、今後はICTを活用して出前講座の機会を増やしていきたい。 ・漁協等が主催する体験型イベント等への支援を予定している。	継続	→	→	→	一部廃止	→	→	→	無	農水局	水産振興センター
動植物園管理運営事業	都市緑化植物園管理経費	・肥後六花の栽培・展示 樹木見本園に、肥後椿、肥後山茶花、肥後芍薬、肥後花菖蒲を植栽。肥後朝顔については保存会の協力を得て展示会を実施。	動植物園植物ゾーン	展示会については、都市緑化フェア開催に伴う施設整備のため中止。	樹木見本園において、肥後椿、肥後山茶花、肥後芍薬、肥後花菖蒲を栽培及び展示。	0	0	今後も樹木見本園において、肥後椿、肥後山茶花、肥後芍薬、肥後花菖蒲を栽培及び展示。肥後朝顔、肥後菊の栽培、展示を検討。	一部休止	継続	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
魅力ある動植物園づくり事業	都市緑化植物園管理経費	・親子自然観察会「江津湖の生き物ウォッチング」 貴重な江津湖の動植物を観察し、「自然のすばらしさ」を親子で体感するもの。	動植物園植物ゾーン、江津湖周辺	コロナ感染防止のため中止。	10月実施予定。	30	0	観察会ルートを含め、内容の変更を検討。	休止	→	再開	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動植物園管理運営事業	都市緑化植物園管理経費	・植物観察会「春の七草を知ろう」 園内や江津湖に自生する「春の七草」を現地で観察し、七草の種類、風習などを学び、自然環境に関心をもつ心を養うための観察会。	動植物園植物ゾーン	コロナ感染防止のため中止。	1月実施予定。	0	0	今後も継続予定。	休止	再開	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	・野鳥の観察会 日本野鳥の会の講師と一緒に、多くの渡り鳥が飛来してくる豊かな自然に恵まれた江津湖と動植物園内の野鳥を観察。	動植物園動物ゾーン	実施する予定であったが、熊本県に「まん延防止等重点措置」が摘要されたため中止となった。	1～2月に実施予定。	0	0	今後も継続予定。	休止	再開	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園

魅力ある動植物園づくり事業	集客対策経費	・ホタルの観察会 5月中旬に園内の日本庭園で、市民を対象としたホタル観察会を実施。	動植物園 日本庭園	実施予定であったが、熊本県に「まん延防止等重点措置」が摘要されたため中止となった。	5月に実施予定。	0	0	今後も継続予定。	休止	→	再開	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	・肥後五鶏の飼育・展示・講習会 肥後ちゃぼ保存会の協力を得て、熊本の地鶏「肥後五鶏」を飼育、展示。伝統文化についての啓発を図るため、年1回講習会「肥後五鶏を知ろう」を開催し、特徴等について解説。	動植物園 動物ゾーン	実施予定であったが、熊本県に「まん延防止等重点措置」が摘要されたため中止となった。	9月頃実施予定。	20	20	今後も継続予定。	休止	再開	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園

									今後のスケジュール（予定）										
事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
動物の生態環境や生態についての、“教育・環境教育”		・動物ガイド 各展示動物の生態や、人間との関わりについて飼育員が分かりやすく解説	動植物園 動物ゾーン	土日祝だけでなく平日も実施。	土日祝だけでなく平日も実施予定。	0	0	今後も継続予定。	休止	→	再開	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動物の生態環境や生態についての、“教育・環境教育”		動物舎への植栽など、生息地環境にできるだけ近づけることを目的とした参加型イベントによる環境教育	動植物園 動物ゾーン	サポーターズデーや動物サマースクールで実施	自然環境教育に関する学習プログラム計画を策定予定。	0	5,000	今後も継続予定。	休止	→	再開	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動物の生態環境や生態についての、“教育・環境教育”		傷病鳥獣など、野生復帰できない動物を用いた環境教育	動植物園 動物ゾーン	サポーターズデーや動物サマースクールで実施	実施予定。	0	0	今後も継続予定。	休止	→	再開	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動物の生態環境や生態についての、“教育・環境教育”		ニホンザルエリアにおける田植え、稲刈りなどの参加型イベントによる環境教育	動植物園 動物ゾーン	「世界ニホンザルの日（12/3）」にあわせ、実施	実施予定	0	0	今後も継続予定。	休止	→	再開	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
「生態系のしくみ」というタイトルでの多様性に関する講話（一般向け）		身近な自然環境に見られる多様性と外来種問題について話す。講話と観察会を組み合わせて行うこともある。	主に熊本市内	実施なし	依頼を受けて対応する。	0	0	依頼を受けて対応する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館
生物多様性に関連した勉強会等の講師		メインテーマは依頼者が設定するが、必ず生物多様性に主眼を置いて話を進める。	主に熊本市内	4件計141名に対して実施	依頼を受けて対応する。	0	0	依頼を受けて対応する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館
自然観察会		身近な自然の観察を通して多様性について考える	主に熊本市内	3件計55名に対して実施	博物館主催の観察会に関しては、感染症対策を講じて実施する	0	0	外部からの依頼により講師として携わるもののほか、博物館主催の観察会も年数回程度実施していく予定。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館
生物多様性に関連した展示解説		ミュージアムトーク 展示の紹介・解説を通して生物多様性についての話題を提供する。	博物館展示室	3回計40名に対して実施	感染症の状況を見ながら実施の可否を判断する	0	0	継続的に実施予定		→	→	→	→	→	→	→		教育委員会	熊本博物館
動物学講座		動物としてのヒトが、自然といかに関わっていくべきか常に考えながら学ぶ。	主に熊本市内	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回のみの実施	感染症対策を講じて実施する	0	0	毎年実施の予定。	休止	→	→	再開	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館
植物学講座		身近な植物に関する話題や情報を提供し、理解や知識を深める。	博物館および野外（熊本市内）	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3回のみの実施	感染症対策を講じて実施する	0	0	毎年実施の予定。	休止	→	→	再開	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館

2）ウェブサイトやSNS、市政だより等を活用した熊本市の生物多様性に関する情報の積極的な発信

									今後のスケジュール（予定）										
事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	生物多様性に関するウェブページの整備等普及啓発の実施	熊本市全域	・市ホームページ環境局サイトや動植物園の生物多様性情報コーナーを活用し、積極的に情報を発信した。	・市ホームページ環境局サイトや動植物園の生物多様性情報コーナーを活用し、積極的に情報を発信する。	0	0	今後も市ホームページ環境局サイトやSNS、市施設を活用した情報発信を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
動物資料館事業		・動物資料館事業 江津湖における魚類の生息状況展示及び江津湖環境に関する情報発信、江津湖に棲む外来生物の影響等の情報発信・啓発	動植物園 動物資料館	資料館水槽で江津湖に生息する魚類を展示して江津湖環境に関する情報発信を継続するが、年度末に開催予定の緑化フェアにあわせて）水辺のインフォメーションセンターでの展示等に移行。	水辺のインフォメーションセンターで実施予定	0	0	H29年度から再開。	休止	再開	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園

2．.教育の推進・人材の育成
1）市役所における生物多様性の浸透の推進

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	熊本市生物多様性庁内推進会議等を中心にした計画の進捗の把握・見直しの他庁内連携の推進	熊本市	・生物多様性に係る関連事業の実施状況等調査を関係各課に年1回照会した。	・熊本市生物多様性庁内推進会議を開催する予定。 ・生物多様性に係る関連事業の実施状況等調査を関係各課に年1回照会予定。	0	0	継続的に熊本市生物多様性庁内推進会議を開催するとともに、庁内への生物多様性の重要性をさらに浸透させる取組が必要となる。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
街なかの緑創出事業	緑化推進経費	緑化行政に携わる職員を対象に、公共樹木管理について技術講習会を開催し、職員の知識と技術の向上及び本市の緑化の推進を図る。	熊本市	年に1度講習会（緑化技術講習会）をWEB講習会として実施	年に1度講習会（緑化技術講習会）を実施予定	30	30	・緑化技術講習会については、例年、樹木の維持管理等における課題をテーマに開催していたが、令和元年度、令和2年度はコロナ禍を考慮し開催を見送った。今後も対象者のニーズに加え、主催者側が伝えるべき内容についても引き続き検討する。	継続	→	→	→	→	→	→		無	環境局	環境共生課

2）学校における生物多様性に関する教育の推進
（理科や総合的な学習の時間等の生物多様性分野に関する学習の充実、学校や教員が利用できる生物多様性に関する学習の支援ツールの作成、動植物園での教員に対する生物多様性に関する研修の実施等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
勤労体験学習	勤労体験学習事業	勤労体験学習（環境教育の一環としての緑化教育活動、勤労体験活動、愛鳥教育活動等を、児童生徒の興味・関心をもとに、地域や学校の実情に応じて創意工夫しながら、児童生徒とともに実践する学習活動）を通して、児童生徒が勤労を重んじ、豊かな心をはぐくみ、自己実現の力とよりよい公民として社会に貢献できる力を培う。	熊本市立の各小中学校	申請のあった学校に農地提供者への謝金や勤労体験活動の指導料、需用費を支給し、農地や専門家等を活用した各学校の勤労体験学習の充実を図る。	○4月：勤労体験学習の実施について計画の提出 ○5月：実施校へ予算配当決定通知 ○5月～12月： ・各学校で計画に沿って勤労体験学習の実施 ・実施届の提出（随時） ○12月：農地の所有者、農業経営者、農作業の指導者に支払い 農地や専門家等を活用した各学校の勤労体験学習の充実を図る。	2,460	2,460	全小中学校が予算を活用し、充実した勤労体験学習の充実を図れるようにする。	継続	→	→	→	→	→	→		無	教育委員会	指導課
学校環境緑化コンクール	教育指導行政経費 環境教育	各小中学校における環境緑化活動の取組を評価し、環境緑化の充実に向けて助言するなど、主体的に緑豊かな環境づくりに取り組み、持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成を支援する。	参加した熊本市立小中学校	・各学校に実施要項を送付（5月） ・審査部門の実施（事前審査、現地審査：9～10月） ・緑化コンクール優秀校表彰（11月） ・相談助言部門の実施（1月）	・各学校に実施要項を送付（5月） ・審査部門の実施（事前審査、現地審査：9～10月） ・緑化コンクール優秀校表彰（11月） ・相談助言部門の実施（1月）	71 ＋ 熊本市地域みどり推進協議会費	66 ＋ 熊本市地域みどり推進協議会費	小学校の参加校数が一昨年度と比べて2／3に減少し、さらに参加校が固定化しつつある。~~令和3年度の学校環境緑化コンクールは実施する予定であるため、~~審査部門及び相談助言部門に多くの学校が参加するよう校長会等での呼びかけを行っていく。	継続	→	→	→	中止	実施	→		無	教育委員会（環境局）	指導課 （環境共生課）
学校教育支援事業	学校教育支援事業（博物館一般管理）経費	博物館の収蔵資料や学芸員の専門的な知識を、学校教育での学習活動に活用する。	熊本市内の小中学校	依頼を受けて実施	依頼を受けて対応する。	355	303	依頼に応じて可能な範囲で継続。 学習内容についての事前打ち合わせ時間の確保や開催日時の調整が必要。 Zoomによる遠隔授業等、運用面での工夫を図る。	継続	→	→	→	→	→	→	→	毎年：10校程度へのゲストティーチャー派遣	教育委員会	熊本博物館
総合的な学習への協力		身近な自然環境に見られる多様性と外来種問題について話す。講話と観察会を組み合わせて行うこともある。	熊本市内の小中学校	出水小3年生69名 日吉東小5年生80名 砂取小5年生85名 菱形小3年生36名 4校計265名に対して実施	依頼を受けて対応する。	0	0	依頼に応じて可能な範囲で継続。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	教育委員会	熊本博物館
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	普及啓発媒体・学習教材の検討・作成、出前講座等	熊本市全域	・生物多様性副読本「いきものさがし」を活用した出前講座を要望に応じ開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で出前講座の申し込みなし。 ・砂取小学校5年生（約85人）を対象に外来魚駆除の見学を実施。	・生物多様性副読本「いきものさがし」を活用した出前講座を要望に応じ開催する。	0	0	・生物多様性副読本「いきものさがし」を活用した出前講座を要望に応じ開催する。	―	検討	実施	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

3. 連携・協働体制の構築
1) 多様な主体間の連携・協働のためのプラットフォームの構築

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	生物多様性保全推進経費	生物多様性推進会議をベースに検討	熊本市全域	・いきもんネット登録団体数が4団体増えて合計15団体となった。 ・市ホームページを中心に、登録団体の活動・イベント情報を発信する。 ・令和4年3月13日に生物多様性シンポジウムを開催し、いきもんネット登録者を中心に、、情報共有や基調講演、意見交換の場を設けた。	・いきもんネット登録団体数を増やすべく、啓発活動を継続する。 ・市ホームページを中心に、登録団体の活動・イベント情報を発信する。 ・生物多様性シンポジウムを開催し、いきもんネット登録者を中心に、学校等の団体も交え、情報共有や基調講演、意見交換の場を設ける予定。 ・いきもんネット登録団体を各表彰に積極的に推薦していく。	0	0	学校の登録がないため、今後は学校の登録も進むよう加入団体を広く募り、情報発信やイベントを着実に進める。	検討		プラットフォーム立ち上げ	試行実施	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

2) 地域住民等様々な主体との連携・協働による生物多様性の保全と活用の取組の推進（放置竹林対策、外来種侵入警戒モニタリング等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	地域住民や、被害の出やすい農業者、専門家のネットワーク等を活用するとともに、庁内連携等を強めることによる、アライグマ等の侵入警戒の早期発見体制の検討・構築	熊本市全域	・引き続き、庁内関係部署や周辺自治体との連携した対策・情報共有を行う。アライグマの生息の可能性がある地域に対しては、自治会や関係団体を通じた情報提供依頼を行った。 ・アライグマについての市民からの相談や情報提供については、必要に応じ、関係部署と連携した対応を行った。	・引き続き、庁内関係部署や周辺自治体との連携した対策・情報共有を行う。アライグマの生息の可能性がある地域に対しては、自治会や関係団体を通じた情報提供依頼を行う。 ・アライグマについての市民からの相談や情報提供については、必要に応じ、関係部署と連携した対応を行う。	0	0	・野外で活動・調査を実施している団体や研究者、学校（生物部等）、猟友会等といった主体との連携した取組や早期発見体制の構築についても検討が必要である。 ・県内（特に県北地域）におけるアライグマの生息確認例が増加傾向にあり、侵入圧が今後さらに高まると想定されるため、近隣自治体との連携をより進める必要がある。	検討	講習会実施・監視体制構築	実施	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
森づくり推進推進事業		・放置竹林対策 森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活用のほか、放置竹林の整備を行う団体に対し、伐採後の竹の処分を支援する放置竹林有効利用推進事業を行う。	熊本市内の放置竹林	森林・山村多面的機能発揮対策交付金を24団体（51ha）が活用し竹林整備を行ったほか、放置竹林有効利用推進事業を20団体が活用し竹処理を行った。	森林・山村多面的機能発揮対策交付金を27団体(47ha)が活用して整備予定。また、放置竹林有効利用推進事業については、約20団体への支援を予定している。	12,970	12,749	森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業と放置竹林有効利用推進事業の連携により、効果的に放置竹林対策を進める。また、伐採後の竹材の需要喚起や他都市の取組事例等の情報共有により、放置竹林対策を継続的な取組とすることを目指す。				放置竹林対策連絡会議設置	放置竹林有効利用推進事業開始 → 拡大推進	拡大推進	→	→	放置竹林対策に取り組んだ面積50ha（R6目標）	農水局（R1年度事業移管）	農業政策課(森づくり推進室)
自然環境保全事業	保存樹木等保全経費	・健軍タブノキの保全 地元住民と連携し、地元の象徴的なタブノキを保全している	東区健軍3丁目	地元自治会とともに跡地の利用について、さらに検討を進める。	緑化重点地区内にある跡地の利用については、ワークショップを実施するなど地域の意向を確認し、跡地利用の方針を決める。	0	0	今後の跡地の安全確保や利用、管理について検討を進める。	継続	倒木・撤去	木材・跡地の利用の検討	→	→	→	WSなどによる地域の意向調査	跡地造成工事の設計委託	無	環境局	環境共生課
広域連携協働事業	広域水保全対策運営経費	熊本地域が一体となって地下水保全対策を推進するため、熊本県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団、事業者、住民と協働し広域的な取組を展開。	熊本地域11市町村	くまもと地下水財団「第1次中長期基本計画」に基づき、公益目的4事業を推進した。 ・地下水環境調査研究事業 ・地下水質保全対策事業 ・地下水涵養推進事業 ・地下水採取・使用適正化推進事業	くまもと地下水財団「第1次中長期基本計画」に基づき、公益目的4事業を推進する。 ・地下水環境調査研究事業 ・地下水質保全対策事業 ・地下水涵養推進事業 ・地下水採取・使用適正化推進事業	7,054	6,727	熊本県、熊本地域11市町村、くまもと地下水財団が更なる連携を図り、恵まれた水資源を後世に守り伝える。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
広域連携協働事業	白川中流域かん養推進経費	本市にとって重要な地下水かん養域である白川中流域において、次世代を担う子供たちが、田植えや稲刈り等の農業体験を通じて、農業がもたらす地下水への効果を学習し、併せて、流域の交流を進めることにより、将来へと続く相互理解を深めるもの。	白川中流域（大津町、菊陽町）	白川中流域水土里ネット協議会を中心に、高校生を対象として少人数により農業体験を実施した。	白川中流域水土里ネット協議会を中心に、高校生を対象として少人数により農業体験を実施予定。	300	300	本市にとって重要な地下水かん養域である白川中流域において、次世代を担う子供たちに田植えや稲刈り等の農業体験を通じて、農業がもたらす地下水への効果を学習し、併せて、流域の交流を進めることにより、将来へと続く相互理解を深めるため、当該活動を継続して実施していくことが必要である。	休止	再開（不参加）	参加（台風のため中止）	→	中止（コロナ禍の影響）	→	→	→	無	環境局	水保全課
広域連携協働事業	水源の森づくりボランティア活動経費	熊本地域の地下水の現状について認識を深めるとともに、森林作業（植付・下刈・間伐・枝打等）や上流域でのふれあい活動（林産品等の加工等）を通じて、山林を保全するために必要とされる知識・技術の習得を通じ、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱの育成を図るもの。	大津町、西原村、南阿蘇村	コロナ禍の影響が不透明のため中止。	年2回を目標に、熊本地域の地下水の現状について認識を深めるとともに、森林作業（植付・下刈・間伐・枝打等）や上流域でのふれあい活動（林産品等の加工等）等を実施予定。	0	410	熊本地震からの復旧・復興を優先させることから、当該事業を一時休止しておりコロナ禍の状況に注視し事業再開を目指す。	休止	→	→	→	再開→中止（コロナ禍の影響）	中止（コロナ禍の影響）	→	→	無	環境局	水保全課

人と動物との共生推進事業	野生鳥獣対策事業	被害地域が主体となった被害未然防止対策の推進 鳥獣の捕獲による個体数管理の推進	熊本市全域	鳥獣被害対策については、市民との協働による鳥獣対策を強化することとしており、自治会等と連携し、学習会の開催を通じて地域住民の鳥獣に対する意識の醸成を図るとともに、通学路への電気柵や生息状況に基づいた箱わなの設置など、地域活動に対する支援を実施した(5地区)。	鳥獣被害対策については、市民との協働による鳥獣対策を強化することとしており、自治会等と連携し、学習会の開催を通じて地域住民の鳥獣に対する意識の醸成を図るとともに、地域住民と一体となった捕獲や鳥獣が近づきにくい環境整備など、地域活動に対する支援を新たに実施する(3地区)。	14,850	18,400	住宅地、通学路等におけるイノシシやシカ等の野生動物の出没件数が増加していることから、今後も引き続き、被害未然防止対策の普及・啓発に努めるとともに、捕獲による個体数管理に取り組む。	継続	→	鳥獣対策室に移管	継続	→	→		無	農水局	農業支援課鳥獣対策室
公園維持管理事業	公園維持管理経費	本市の緑の骨格として貴重な緑である託麻三山のうち、神園山小山山緑地について、良好な環境を保全するとともに、地域コミュニティの構築及び住民の地域に対する愛着を深めることを目的として、委託契約及びボランティア協定を締結し「市民協働による里山づくり」を進めている。	神園山小山山緑地	地域住民への委託契約による下草刈及びボランティア協定による苗木の植え付け、公園の利用促進に関する活動、清掃等を実施。市では竹伐採等を実施済。	地域住民への委託契約による下草刈及びボランティア協定による苗木の植え付け、公園の利用促進に関する活動、清掃等を実施。市では竹伐採等を実施予定。	1,540	1,540	神園山小山山緑地は、NPO等の団体も活動しており、各団体の調整を図りながら良好な環境を保全していく必要がある。 今後も多様な団体と協働しながら、事業を継続していく。	継続	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課
公園維持管理事業	公園維持管理経費	本市の緑の骨格として貴重な緑である託麻三山のうち、戸島山緑地について、良好な環境を保全するとともに、地域コミュニティの構築及び住民の地域に対する愛着を深めることを目的として、委託契約及びボランティア協定を締結し「市民協働による里山づくり」を進めている。	戸島山緑地	地域住民への委託契約による除草及びボランティア協定による竹伐採、清掃、緑地利用促進に関する活動を実施済。	地域住民への委託契約による除草及びボランティア協定による竹伐採、清掃、緑地利用促進に関する活動を実施予定。	621	600	今後も多様な団体と協働しながら、事業を継続していく。	実施 【新規】	継続	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課

基本戦略3　守る　　生物の生息・生育地の保全

Ⅰ 個別の事業ごとの実施状況
1. 絶滅危惧種の保全
1) 市内に生息・生育する絶滅危惧種の保全の方向性の検討

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
※検討中		市民参加型モニタリング、県や地元の有識者等との情報共有のネットワーク構築による情報収集を踏まえた保全方策の検討	熊本市全域	検討中。	情報の収集を継続するとともに、開示制限、情報の活用方法等を検討する。	0	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	－	検討	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

2) 関係機関と連携した保全対策の実施

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	立田山管理経費	立田山憩の森の維持管理における有識者との連携によるトダスゲ等の保全など	立田山憩の森（トダスゲ湿地など）	・トダスゲ、アカササゲ等の生育が見られる箇所の下草刈については、通常の作業と時期をずらし、種が落ちた後に行うよう保全策を実施。 有識者に下草刈の時期や回数を確認し、実施している。	・トダスゲ、アカササゲ等の生育が見られる箇所の下草刈については、通常の作業と時期をずらし、種が落ちた後に行うよう保全策を実施予定。 有識者に下草刈の時期や回数を確認し、実施している。	0 下草刈委託費 38行の経費に含む	0	適宜、専門家にも協力していただき、巡回とともに保全策を実施していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
		公園・河川・森林等の管理における保全への配慮	水前寺江津湖公園	指定管理者による希少種に配慮した草刈等の実施や希少種の保全活動を実施。	指定管理者による希少種に配慮した草刈等の実施や希少種の保全活動を実施済。	0	0	職員及び指定管理者における希少種保護に関する知識の習得、活動内容・情報の共有化。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課
		公園・河川・森林等の管理における保全への配慮	東区土木センター管内 中央・西区土木センター河川公園整備課	公園内樹木の害虫駆除について、極力農薬を使用しない駆除方法（捕殺・剪定）を選択。	公園内樹木の害虫駆除について、極力農薬を使用しない駆除方法（捕殺・剪定）を選択予定。	500	500	今後も極力農薬を使用しない害虫駆除を実施していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	区役所その他	東区土木センター維持課 中央・西区土木センター維持課

3) 動植物園における絶滅危惧種の域外保全の実施

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
動植物園管理運営事業	都市緑化植物園管理経費	・スイゼンジノリの保存・栽培 江津湖に自生していたスイゼンジノリの保存・復活を目指した栽培試験を実施している。	動植物園植物ゾーン	動植物園植物ゾーン日本庭園にて栽培試験を継続。	動植物園植物ゾーン日本庭園にて栽培試験を継続予定。	0	0	継続して栽培試験を実施予定。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	・江津湖希少動物の養殖・展示 タナゴ等の江津湖希少動物を動物資料館の水槽で養殖、展示。	動植物園動物資料館	資料館水槽で飼育・繁殖を継続するが、年度末に開催予定の緑化フェアにあわせて水辺のインフォメーションセンターでの飼育・繁殖に移行予定。	水辺のインフォメーションセンターにて実施予定	714 園全体の原材料費	1,002 園全体の原材料費	継続して飼育・繁殖・展示を実施予定。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
動植物園管理運営事業	動植物園一般管理経費	・保護野生鳥獣の養生飼育・展示 県自然保護課と連携して、ケガなどで保護された野生鳥獣（タカ等）を預かり養生を図るもの。	動植物園動物ゾーン	実施	必要に応じて実施。	4,938 園全体の医薬材料費	4,938 園全体の医薬材料費	鳥インフルエンザ防疫を考慮すると、今後積極的受入が難しくなるケースが考えられる。	実施なし	必要に応じて実施	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		絶滅危惧ⅠA類に分類されているニッポンバラタナゴ、セボシタビラ、絶滅危惧Ⅱ類に分類されているヤマトシマドジョウ、メダカの保護・繁殖	動植物園動物資料館	資料館水槽で飼育・繁殖を継続するが、年度末に開催予定の緑化フェアにあわせて水辺のインフォメーションセンターでの飼育・繁殖に移行予定。	水辺のインフォメーションセンターにて実施予定	714 園全体の原材料費	1,002 園全体の原材料費	継続して飼育・繁殖・展示を実施予定。 課題として以前から飼育している江津湖由来とされるニッポンバラタナゴの遺伝子解析が行われていない。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		熊本県レッドデータブックで絶滅危惧Ⅱ類に分類されているヒラモの保護・養殖	動植物園植物ゾーン	動植物園植物ゾーン日本庭園にて保護・養殖を継続予定。	動植物園植物ゾーン日本庭園にて保護・養殖を継続予定。	0	0	継続して栽培を実施予定。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		環境省レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に分類されているスイゼンジノリの保護・養殖	動植物園植物ゾーン	動植物園植物ゾーン日本庭園にて栽培試験を継続予定。	動植物園植物ゾーン日本庭園にて栽培試験を継続予定。	0	0	継続して栽培試験を実施予定。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
絶滅の恐れのある希少動物の保護・繁殖等の“種の保存”		タナゴ類の繁殖床になるドブガイの繁殖に国内で初の成功、現在も繁殖継続	動植物園動物資料館	資料館水槽で飼育・繁殖を継続するが、年度末に開催予定の緑化フェアにあわせて（仮称）水辺のインフォメーションセンター（緑の相談所を改修）での飼育・繁殖に移行予定。	水辺のインフォメーションセンターにて実施予定	714 園全体の原材料費	1,002 園全体の原材料費	ドブガイの飼育に適した飼育用水の取水が安定していないため、繁殖が安定しない。 地震後死滅したため、再度繁殖予定。	死滅休止	再開	→	→	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
生物多様性保全推進支援事業		ニホンイヌワシの生息域外保全事業	動植物園動物ゾーン	イヌワシの生息域外保全を目的とした繁殖及び普及啓発を継続。	イヌワシの生息域外保全を目的とした繁殖及び普及啓発を継続予定。	0	0	イヌワシ飼育繁殖実績のある園から講師を招き、繁殖技術研修を実施予定。 今後もイヌワシの生息域外保全を目的とした繁殖及び普及啓発を進める。			開始	継続	→	→	→	→	無	経済観光局	動植物園
生物多様性保全推進支援事業		トサシミズサンショウウオの生息域外保全事業	動植物園動物ゾーン	講師招聘によるシンポジウムを計画していたが、熊本県に「まん延防止等重点措置」が摘要されたため中止となった。	・講師招聘による繁殖繁殖技術研修を開催予定。	0	0	継続して飼育・繁殖を実施予定				開始	継続	→	→	→	無	経済観光局	動植物園

2. 多様な自然環境の保全

1) 環境保護地区等の適切な保全、維持管理の推進（より適切な保全・維持管理の実施に向けた手法の検討等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・環境保護地区 市域に残る良好な緑地を「環境保護地区」として指定し、保全する。ふるさとの森基金の運用益等により所有者等に対して交付金等を交付している。	熊本市全域	環境保護地区を大切に保全し、後世に引き継いでいくため、ふるさとの森基金を活用し、指定交付金等の助成を行う（3/31交付額の確定、4月以降に順次交付予定） ・損害賠償保険料：148千円（対人5億円限度、対物1億円限度）	環境保護地区を大切に保全し、後世に引き継いでいくため、ふるさとの森基金を活用し、指定交付金等の助成を行う（3/31交付額の確定、4月以降に順次交付予定）。 ・損害賠償保険料：148千円（対人5億円限度、対物1億円限度）	7,462	7,722	これまで地権者の理解と協力を得て大切に守られてきた環境保護地区については、一部で、土地所有者の高齢化などによる管理不足の指摘もあることから、管理実態の把握と、効果的な維持管理の手法などを含め今後の制度のあり方を検討していく。	継続	見直しの検討	見直しの検討	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	立田山管理経費	・立田山憩の森の保全管理 生活環境保全林の保全管理（下草刈、清掃、施設の維持管理や希少種の保護等）を実施。	立田山憩の森	立田山憩の森において、下草刈や樹木の支障枝の剪定、施設の維持管理など、適正な保全管理を実施。	立田山憩の森において、下草刈や樹木の支障枝の剪定、施設の維持管理など、適正な保全管理を実施する。	23,460 下草刈委託費 14行の経費含む	23,860	今後も適正な維持管理に努め、多くの市民に緑豊かな憩の森として快適な緑地の提供を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課

2) 放置竹林対策の効果的な手法の検討・推進、農地の多面的機能の維持・発揮の取組、耕作放棄地の再生利用の推進等による里地里山の保全

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
集落機能の維持・活性化事業	多面的機能支払交付金事業	・多面的機能の維持・発揮 地域共同により農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全管理活動及び地域資源の適切な保全管理のための推進活動に取組む組織に対して交付金を交付している。	熊本市内の農振農用地ほか	熊本市秋津地域農地・水環境保全管理協定ほか27組織が継続して活動を行う予定。 対象農用地面積7,918ha。	熊本市秋津地域農地・水環境保全管理協定ほか27組織が継続して活動を行う予定。 対象農用地面積7,918ha。	579,524	647,961	本事業は1期・5ヵ年計画で実施する事業であるが、来年度は継続して取り組む28組織に加え、新たに2組織が活動を開始する計画としており、全30組織にて継続した活動を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	市内農振農用地面積の80% ※達成済	農水局	農地整備課 北東部農業振興センター基盤整備課 西南部農業振興センター基盤整備課

3) 関係機関と連携した有明海の漁場環境の保全

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
漁業生産振興事業	水産多面的機能発揮対策事業	活動組織（漁業者等）が行う耕うん、保護区設定、生物除去等の水域環境・漁場環境保全に関する取組を支援することで、ノリ、アサリ、ハマグリなどの主要水産物の安定的な生産を図るとともに、魚類・甲殻類の幼稚仔の生息しやすい環境を維持する。	有明海（管内地先漁場）等	前年度の結果及び実績を踏まえて計画された令和3年度（2021年度）事業を各活動組織が実施済。漁場のモニタリング結果に基づき各種対策が実施され、効果的な事業実施がなされた。	水域環境・漁場環境保全に関する取組を継続して支援することで、主要水産物の安定生産に向けた資源の増殖を促すとともに、魚類・甲殻類の幼稚仔の生息しやすい環境への回復を推進する。	6,994	7,320	第2期の事業が令和3年度から開始され、令和7年度までの事業実施が可能となった。しかしながら、毎年のように豪雨や台風等による漁場環境の悪化が繰り返されていることから、国主導による抜本的な環境回復策が望まれる。	第1期	→	→	→	第2期	→	→	→	無	農水局	水産振興センター

4) 公共事業における環境アセスメントの実施、熊本市環境配慮指針の遵守等

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
		環境配慮指針に基づく第1種事業（一定規模以上）：チェックシート作成、公共事業環境配慮評価会議で審議 第2種事業（6,000万円以上）：チェックシート作成 第3種事業（6000万円未満、維持補修、保守点検）：チェックシート作成省略。ただし、地下水等環境への大きな影響の恐れがある場合は、チェックシート作成	熊本市全域	第1種事業について、公共事業環境配慮評価会議を開催し、環境配慮の対応策について審議を実施（5件）。 第2、3種事業については、随時関係各課と協議を実施した。	第1種事業の計画提出があった場合は公共事業環境配慮評価会議にて審議予定。 第2、3種事業については、随時関係各課と協議を行う。	0	0	内容をより判りやすく改訂し、掲載の環境配慮技術の更新についても、関係各課との継続的な検討を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	→		無	環境局	環境政策課
環境に配慮した河川整備の推進	広域河川整備経費	一級河川健軍川、藻器堀川、鶯川の設計・改修にあたり多自然川づくりを実施している。	－	藻器堀川、鶯川において環境に配慮した河川改修を実施した。	健軍川、藻器堀川、鶯川において環境に配慮した河川改修を予定。	124,000	125,000	熊本市公共事業環境配慮指針に基づき、事業計画及び整備実施の各段階で環境に配慮した取組を行っていく。	随時	→	→	→	→	→	→	→	無	都市建設局	河川課

3. 外来種対策の実施

1) 特に対策が必要な侵略的外来種のリスト化と対策の方向性の整理、ペットや国内由来の外来種の取り扱いも含めた普及啓発

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
※検討中		対策すべき侵略的外来種とその対策の方向性の整理（リストアップ）	熊本市全域	検討中	検討中	0	0	取組は必要だが、優先順位を付け進めていく。	－	検討	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・外来生物対策（オオキンケイギク） 特定外来生物オオキンケイギクの市民への周知、啓発を実施	熊本市全域	・市ホームページへの周知・啓発記事を掲載。 ・市民からの情報提供に対する調査や所管部署への情報提供を継続する。	・市政だより、市ホームページ、ラジオ等を通して周知・啓発する。また5月開催の生物多様性の日イベントにおいて、身近な外来種としてオオキンケイギクの展示を行う。 ・市民からの情報提供に対する調査や所管部署への情報提供を継続する。	0	0	・オオキンケイギクについての周知・啓発、駆除の依頼等を継続して実施していく。 ・私有地に生育している場合の対処が課題である。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・外来生物対策（ヒアリ・ツマアカスズメバチ） 特定外来生物のヒアリ・ツマアカスズメバチの侵入監視、及び市民への周知、啓発を実施	熊本市全域	・ツマアカスズメバチについて、引き続き熊本港でのトラップ設置による生息調査（環境省調査、春季・夏季）を実施。 ・ヒアリについて、ホームページへの注意喚起及び情報提供の記事掲載により周知する。また市民からの相談対応は関係部署と連携して実施る。	・ツマアカスズメバチについて、引き続き熊本港でのトラップ設置による生息調査（環境省調査、春季・夏季）を実施する。 ・ヒアリについて、ホームページへの注意喚起及び情報提供の記事掲載により周知する。また市民からの相談対応は関係部署と連携して実施する。	0	0	・引き続き侵入監視や情報提供、関係部局と連携した市民対応を実施する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
		・外来生物対策（セアカゴケグモ） 特定外来生物セアカゴケグモの市民への周知、啓発を実施する。	熊本市全域	・市政だより、市ホームページ、ラジオ等を通して、セアカゴケグモの情報を発信した。 ・出前講座の場を利用した啓発はコロナウイルスの影響により開催できなかった。	・市政だより、市ホームページ、ラジオ等を通して、セアカゴケグモの情報を発信する。 ・出前講座などを通して、市民啓発を行う。	0	0	継続実施。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	健康福祉局	生活衛生課
	動物愛護推進経費	特定動物飼養許可施設における飼養管理確認のため立入を行う	熊本市内	特定動物の適正飼養管理状況について、立入調査を行った。	特定動物の適正飼養管理状況について、立入調査を行う。	0	0	立入指導や啓発を継続し、逸走防止を図っていく。	4	4	6	6	7	17	10		年1回	健康福祉局	動物愛護センター

2）対策の緊急性が高い外来種に対する関係機関と連携にした計画的かつ効果的・効率的な防除の実施（スパルティナ属、江津湖の水草・魚類、セアカゴケグモ等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・江津湖地域の指定外来魚の巡視、回収業務 江津湖地域における特定外来生物等による生態系等に係る被害の防止に関する条例の施行に伴う指定外来魚の巡視、回収を実施	江津湖地域	業務委託により、釣り人の巡視や釣り上げた指定外来魚の回収・処分を行うとともに、釣り人に対し条例周知のためのリーフレット配布を行った。	業務委託により、釣り人の巡視や釣り上げた指定外来魚の回収・処分を行うとともに、釣り人に対し条例周知のためのリーフレット配布を行う。	2,673	2,764	今後、釣り人や電気ショッカー船による指定外来魚の回収実績等をもとに、条例の効果を検証していく必要がある。 また、釣り人の更なる協力を得るための対策の検討が必要。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・江津湖地域における外来魚駆除及び魚類生息状況調査業務 電気ショッカー船を用い、指定外来魚の駆除に加え、四季毎の魚類の生息状況を調査する。指定外来魚について、タモ網で捕獲後、全長、体長、重量を計測する。指定外来魚以外の魚について、目視で魚の種類を識別し、記録する。	江津湖地域	業務委託により、電気ショッカー船を用い、年4回の魚類生息状況調査及び年20回の外来魚駆除を実施した。 R3年度の指定外来魚の捕獲実績(R4年3月上旬まで)は、魚類生息状況調査では252匹、外来魚駆除では1208匹を捕獲し、肥料用として専門業者に提供、研究材料として大学に提供した。	業務委託により、電気ショッカー船を用い、年4回の魚類生息状況調査及び年20回の外来魚駆除を実施予定。	3540（1/2は上下水道局負担金）	3800（1/2は上下水道局負担金）	今後、釣り人や電気ショッカー船による指定外来魚の回収実績等をもとに、条例の効果を検証していく必要がある。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	全国都市緑化フェア開催推進経費	江津湖地域における環境DNA分析（魚類）調査	江津湖地域	江津湖地域10地点で11月と2月に採水して、DNA分析を実施した。	DNA分析結果を外来魚駆除対策に活かす。	2,761	0	DNA分析結果を外来魚駆除対策に活かす。 新事業						試行	未定	未定	無	環境局	環境共生課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	・外来生物対策（スパルティナ属） 特定外来生物スパルティナ属対策検討会に加入し、他部署と連携して防除策を検討	坪井川、白川など	熊本県特定外来生物スパルティナ属対策協議会に出席。状況の確認を行った。	今後、協議会構成員等との連携を継続する。	0	0	今後、協議会構成員等との連携を継続する。	休止	再開	継続	→	→	→	→	→	根絶	環境局	環境共生課
外来植物の除去	水前寺江津湖公園指定管理経費	指定管理業務の中で水前寺江津湖公園の湖面及び水辺に繁茂する外来植物の除去を行う。	水前寺江津湖公園区域の水面	・指定管理者において水草刈取り船及び和船、人力により水草回収作業を実施予定 ・市民団体・市民ボランティア活動により水草回収作業を実施予定（回収した水草の搬出は指定管理者が実施済）	・指定管理者において水草刈取り船及び和船、人力により水草回収作業を実施予定 ・市民団体・市民ボランティア活動により水草回収作業を実施予定（回収した水草の搬出は指定管理者が実施）	41,700	41,700	・廃棄物処理料の不足のため、回収できる量に限界が出ている。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課
		・外来生物対策（セアカゴケグモ） 関連部署と連携し、通報等によりセアカゴケグモの生息を確認した際はその場で駆除を実施する。	セアカゴケグモの発生場所及び周辺	公共施設でセアカゴケグモの生息を確認し、施設管理者へ駆除の指導を行った。 併せて施設管理者に利用者への注意喚起を助言した。	新たな地域でセアカゴケグモをの生息を確認した際は、その場で駆除し、土地管理者へ今後の駆除の指導を行う。併せて、周辺地域へ注意喚起を行い、健康被害の発生を予防する。	0	0	セアカゴケグモの生息域が拡大傾向にある中、健康被害の発生を防ぐためには、セアカゴケグモを発見した際の駆除の方法を周知すると共に、予防の知識を広く普及する必要がある。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	健康福祉局	生活衛生課
		・特定外来生物対策（ヒアリ） 市民からの特定外来生物（ヒアリ）の相談について、他の害虫等に関する相談業務と同様に対応する。	熊本市全域	在来種のアリの相談対応と同様に、対応可能な範囲で、顕微鏡等を用いてヒアリの相談に対応した。	在来種のアリの相談対応と同様に、対応可能な範囲で、顕微鏡等を用いてヒアリの相談に対応する。	0	0	継続実施。		継続	→	→	→	→	→	→	無	健康福祉局	生活衛生課

3）特に大きな被害が想定される外来種に係る市民・団体・専門家等と連携した広域的なモニタリング体制の構築（アライグマ等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
安定した農業生産・集出荷の推進及び鳥獣による市民への直接の被害防止	農作物鳥獣被害対策事業、鳥獣被害対策事業（生活被害対策）	農作物被害や生活被害を及ぼすイノシシをはじめとした鳥獣類の駆除のほか、県や他市町村、環境局と連携しクリハラリスやアライグマなどの外来生物の侵入を監視。特に、アライグマの生息が確認されている地区においては、農業者や関係機関の普及員、営農指導員、駆除隊と連携し、目撃情報や疑わしき被害などの情報収集に努め、監視体制の構築を図る。	熊本市全域	アライグマについては、環境局が取組む生息状況調査を注視するとともに、農業者、農業団体、駆除隊などに対して、特徴・見分け方等を周知し、発見時の情報提供を呼びかけた。また、目撃情報や疑わしき被害が寄せられた場合は、環境局と連携し、現地確認・調査等を実施した。 鳥獣被害対策については、市民との協働による鳥獣対策を強化することとしており、自治会等と連携し、学習会の開催を通じて地域住民の鳥獣に対する意識の醸成を図るとともに、通学路への電気柵や生息状況に基づいた箱わなの設置など、地域活動に対する支援を実施した（5地区）。。	アライグマについては、環境局が取組む生息状況調査を注視するとともに、農業者、農業団体、駆除隊などに対して、特徴・見分け方等を周知し、発見時の情報提供を呼びかける。また、目撃情報や疑わしき被害が寄せられた場合は、環境局と連携し、現地確認・調査等を実施する。 鳥獣被害対策については、市民との協働による鳥獣対策を強化することとしており、自治会等と連携し、学習会の開催を通じて地域住民の鳥獣に対する意識の醸成を図るとともに、地域住民と一体となった捕獲や鳥獣が近づきにくい環境整備など、地域活動に対する支援を新たに実施する(3地区)。	14,850	18,400	今後も引き続き、アライグマの目撃情報や生息痕跡等の収集に努め、関係部局との情報共有を図り、被害防止対策を進める。 住宅地、通学路等におけるイノシシやシカ等の野生動物の出没件数が増加していることから、今後も引き続き関係機関と連携し被害未然防止対策の普及・啓発に努めるとともに、捕獲による個体数管理に取り組む。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	農業支援課鳥獣対策室

4）施設等の管理における外来種の侵入・拡大防止の対策の実施（オオキンケイギクの駆除等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
自然環境保全事業	自然環境保全経費	対策すべき侵略的外来種に関する情報提供	熊本市全域	オオキンケイギクを始めとする対策すべき外来種について、情報提供や駆除の協力依頼を必要に応じ実施。	オオキンケイギクを始めとする対策すべき外来種について、情報提供や駆除の協力依頼を必要に応じ実施する。 オオキンケイギクの駆除を業務委託で実施予定。 環境省のアカミミガメ及びアメリカザリガニへの対応について注視していく	0	956	対策すべき侵略的外来種について、適宜情報収集・提供を行う。	―	実施	→	→	→	→	→	→	無	環境局	環境共生課
		施設における侵略的外来種の適切な除去等、侵入・拡大防止の実施	水前寺江津湖公園	草刈等の実施により結果として、外来種の生息・生育エリアの拡大を防いだ。	草刈等の実施により結果として、外来種の生息・生育エリアの拡大を防ぐ。	41,700	41,700	外来種に関する知識と作業目的の共有化	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課
自然環境保全事業	加勢川維持管理経費	特定外来生物（ブラジルチドメグサやボタンウキクサ）の除去を年1回実施している。	加勢川流域	除去作業が必要な程確認されなかったため未実施。	２月に除去作業を予定している。	－	200	特定外来生物（ブラジルチドメグサやボタンウキクサ）の除去を継続して実施していく。	休止	再開	継続	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課
自然環境保全事業	広域河川維持補修経費	特定外来生物（オオキンケイギク）の除去を実施している。	健軍川、鶯川、藻器堀川沿線	河川除草業務委託により１１月頃に実施。	河川除草業務委託により6月頃に実施予定。	11,739	14,802	特定外来種（オオキンケイギク）の除去を継続して実施していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	東区役所ほか	東区土木センター維持課

自然環境保全事業	道路維持保全経費	特定外来生物（オオキンケイギク）の除去を実施する。	管内全域	5、6月に業務委託により回収・処分を実施	5～6月頃に業務委託により除去・処分を実施予定	800	800	適時、対応を行っていく	継続	→							無	北区役所	北区土木センター維持課

4．広域的な視点での保全対策の実施

1）熊本地域における地下水保全対策と連携した広域的な生物多様性保全対策の推進（水源かん養林の整備、湛水事業の推進、水田等の農地の保全、硝酸性窒素削減対策の着実な推進等）

									今後のスケジュール（予定）										
事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
地下水量保全対策経費	水源かん養林整備経費	森林の持つ水源かん養機能（水資源貯留、水量調節、水質浄化、洪水緩和等）を高度に発揮させるため、河川上流域の水源地域において地下水保全を目的とした森林づくりを推進する。第6次水源涵養林整備計画（H26～R5を策定し、市街地を貫流し本市の地下水とも関連の深い白川上流域において、新規造林事業（約76ha）を実施するほか、併せて、既存の森林の保育管理（下刈、間伐等）を実施するもの。	大津町、西原村、南阿蘇村	西原村、南阿蘇村、大津町において、原野約3haの新規造林、約40haの下草刈、約12haの除間伐等の保育管理を実施した。	西原村において、原野約4haの新規造林を実施するほか、約40haの下草刈等の保育管理を実施予定。	45,600	52,590	平成28年熊本地震の影響で新規造林計画を5ヶ年から10ヶ年に延長したため、令和5年度まで計画的に新規造林を実施していく。	継続	→							無	環境局	水保全課
地下水量保全対策経費	白川中流域かん養推進経費	地下水量の保全を目的に、本市の地下水の増加に最も寄与する度合いが高い白川中流域の転作田において、営農の一環として行われる湛水に対し、本市が助成金を交付し、地下水のかん養を図っていくもの。	白川中流域（大津町、菊陽町、熊本市東部地域）	1,416万トン（472ha）の地下水かん養を実施した。	1,650万トン（550ha）のかん養量を目指す。	54,700	54,700	協力農家の皆様が湛水事業に参加しやすい制度を今後も、水循環型営農推進協議会と協力しながら検討していく。	継続	→							人工かん養量1,710万トン／年	環境局	水保全課
地下水を育む取組	水道事業会計	林野庁の法人の森制度を活用して平成26年（2014年）に開設した「熊本市水道の森」を保有することによって地下水保全に寄与するもの。	西原村	継続して「熊本市水道の森」を適切に管理。	継続して「熊本市水道の森」を適切に管理していく。	0	0	今後も適切に「熊本市水道の森」を管理していく。また、本取組を活用した普及啓発を検討する。	継続	→							無	上下水道局	経営企画課

2）阿蘇地域の草原の保全につながる取組の推進（動植物園におけるゾウの餌としての野草利用等）

									今後のスケジュール（予定）										
事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
動植物の生態・習性及び繁殖についての“調査・研究”		・大学等研究機関との共同研究 ・東海大学との共催で市民向けシンポジウム実施 ・阿蘇の野草でゾウを育てる。ゾウと地域環境の再生と活用の取組	動植物園動物ゾーン 阿蘇市	・東海大学との共同研究を実施。 ・環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所との共催で草原学習実施。 ・東海大学との共催シンポジウムを計画していたが、熊本県に「まん延防止等重点措置」が摘要されたため中止となった。	・東海大学との共同研究を実施予定。 ・10月に環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所との共催で草原学習実施予定。 ・東海大学との共催でシンポジウムを開催予定。	0	0	・環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所との共催で阿蘇地域における草原学習を継続して実施していく。	休止	再開	→						無	経済観光局	動植物園

5. 環境負荷の低減を通した保全対策の実施
1) 温暖化対策と連携した生物多様性保全対策の推進

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
地球温暖化対策の推進	低炭素都市づくり戦略計画経費	本市における温暖化対策を推進するために、「熊本市低炭素都市づくり戦略計画推進協議会」などの推進体制を通じて、熊本市低炭素都市づくり戦略計画の進捗管理等を行っている。	熊本市全域	R2年度末で計画の期間が終了したため、温室効果ガス排出量やアクションプランの評価等、計画の総括を行った。 なお、R2年度末には、熊本連携中枢都市圏を構成する市町村と共同で「熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画」を策定した。	※事業終了	90,000	0	※事業終了 廃止事業	継続	→	→	→	→				温室効果ガス削減目標 短期目標（2020年度）：2007年度レベルから△6.2%	環境局	環境政策課温暖化・エネルギー対策室
地球温暖化対策の推進	くまもと脱炭素循環共生圏推進経費	熊本連携中枢都市圏が目指す「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」に向け、温室効果ガスの排出量や削減量の算定、広報啓発、協議会の開催などを通じて、圏域での地球温暖化対策を推進する。	熊本連携中枢都市圏	－	・熊本連携中枢都市圏における温室効果ガスの排出量や、熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画に掲げた事業の実施に伴う温室効果ガスの削減量を算定。 ・広報誌等を活用した都市圏構成市町村共同での啓発を実施。 ・熊本連携中枢都市圏地球温暖化対策実行計画協議会を開催。	－	4,400	適切に計画の進捗管理を行い、地球温暖化対策の推進に努める。 新事業						→		温室効果ガス削減目標 短期目標（2025年度）：2013年度比△33%	環境局	環境政策課温暖化・エネルギー対策室
街なかの緑創出事業	市電緑のじゅうたん事業	・市電緑のじゅうたん事業 市電軌道敷の緑化を図り、維持管理を実施。	熊本駅前～田崎橋、水道町～花畑町の計935m	・適正な維持管理の実施 芝刈り（5回）、施肥（3回）、薬剤散布（3回）、潅水（16回）、人力除草（4回）	・適正な維持管理の実施 芝刈り（5回）、施肥（3回）、薬剤散布（3回）、潅水（16回）、人力除草（4回） ・R4年度より辛島電停の敷設に伴い、延長約51m分も管理を実施予定。	12,400	13,300	今後も継続して緑のじゅうたんの適正な維持管理に努める。 散水軌陸車の導入により委託料の大幅な縮減を推進している。	継続	→	→	→	→	→	→		無	環境局	環境共生課
街なかの緑創出事業	屋上等緑化経費	・屋上等緑化助成制度 中心市街地の新たな緑の創出とヒートアイランド現象の緩和、CO2の吸収を図るため、屋上、壁面を緑化される方に対し助成制度を設けている。	熊本市内の市街化区域	緑の基本計画改定に伴い、補助率を見直し。	補助率見直し後の要綱に基づき事業を実施。	1,000	1,000	緑の基本計画改定に伴い、補助率を見直し。 （緑化重点地区の補助率強化）	休止	→	→	→	再開	→	→		無	環境局	環境共生課
街なかの緑創出事業	緑化推進経費	・公共地緑化事業 地域の核となる学校・公共施設の緑化を実施。	熊本市内小学校	R3年度より予算削減、必要に応じ、事業内予算で個別に対応する。	－	0		R3年度より予算削減、年度計画での実施は廃止し、必要に応じ、事業内予算で個別に対応する。 廃止事業	縮小実施	→	→	→	保留	廃止			無	環境局	環境共生課
街なかの緑創出事業	緑化推進経費	・記念樹配布 結婚、誕生、新築、銀婚といった人生の節目に記念樹を配布。	熊本市全域	R3年度も年1回の配布を実施した。（令和3年12月4・5日）	R4年度も年1回の配布を実施予定。	750	600	記念樹配布事業について、継続予定だが、H29年度から年1回の配布実施とした。また、申込・配布方法の検討を進める。	継続	→	→	→	→	→	→		配布数600本	環境局	環境共生課
街なかの緑創出事業	緑化推進経費	・緑化市民運動 自治会や団体で行う緑化運動に対し、樹木等の材料を提供し、地域での緑化に対する意識の高揚を図る。	熊本市全域	R3年度より予算削減、		0		景観の向上や緑の増量だけでなく、まちづくり・人づくりの素材にも寄与する事業であるため、他団体で実施する類似制度を案内する。	継続					廃止			無	環境局	環境共生課

2) 河川の水質汚濁防止対策による水環境の保全・化学物質の適正な使用（事業場・生活排水対策、水質調査の継続、下水道への接続、浄化槽の適切な維持管理）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
水質保全対策事業	地下水浄化対策経費	地下水の汚染が判明した地区において浄化対策を実施する。	春竹地区	地下水浄化装置を適切に維持管理し、地下水の浄化対策を実施している。	引き続き、地下水浄化装置を適切に維持管理し、地下水の浄化対策を実施予定。	1,874	1,792	地下水の環境基準の達成に至っていないため、継続して浄化対策を実施していく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
水質保全対策事業	水質汚濁規制経費	水質汚濁防止法等で排水規制を受ける事業場に対し、事前に届出を徹底させ、施設の適正な管理を行うよう指導するとともに、立入排水検査により公共用水域等の水質の保全を図る。 また、油流出等の水質汚濁事故や苦情に対して拡散防止等の措置を行うとともに、未然防止に関する啓発を行う。	熊本市全域	事業場が設置される際は、施設の適正管理と排水基準の遵守を指導する。また、計画的に立入排水検査等を行い、排水基準等の適合状況等を確認する。 水質汚濁事故や苦情に対しては、拡散防止等の措置を行うとともに、原因者に対する指導、市政だよりやラジオ等により未然防止対策の啓発を行った。	引き続き、事業場が設置される際は、施設の適正管理と排水基準の遵守を指導する。また、計画的に立入排水検査等を行い、排水基準等の適合状況等を確認する。 水質汚濁事故や苦情に対しては、拡散防止等の措置を行うとともに、原因者に対する指導、市政だよりやラジオ等により未然防止対策の啓発を行う。	859	651	排水基準違反や水質事故に対して、事前の指導や啓発活動による未然防止を図っていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
水質保全対策事業	硝酸性窒素削減対策経費	地下水中の硝酸性窒素削減を目的とした「第3次熊本市硝酸性窒素削減計画」に基づき、施肥対策や家畜排せつ物対策等の発生源対策を実施。特に、地下水の主要な流れに位置する東部地域における硝酸性窒素の負荷を削減する目的で、共同の家畜排せつ物処理施設の整備を進める。	熊本市全域	「第4次熊本市硝酸性窒素削減計画」に基づき、対策を推進している。	「第4次熊本市硝酸性窒素削減計画」に基づき、対策を推進する。	93,772	160,000	「熊本市硝酸性窒素削減計画」に基づき、対策を推進する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
水質保全対策事業	東部堆肥センター管理運営経費	東部堆肥センター（家畜排せつ物処理施設）を指定管理者により管理運営し、施設の設置目的である東部地域における家畜排せつ物による地下水への窒素負荷の削減を図る。	東部地域	指定管理者による東部堆肥センターの管理運営を行い、東部地域における家畜排せつ物による地下水への窒素負荷の削減や家畜の飼養に伴う臭気の発散を軽減し、周辺環境と調和のとれた畜産業の発展を図っている。	指定管理者による東部堆肥センターの管理運営を行い、東部地域における家畜排せつ物による地下水への窒素負荷の削減や家畜の飼養に伴う臭気の発散を軽減し、周辺環境と調和のとれた畜産業の発展を図る。	136,000	135,400	東部堆肥センターの適正な管理運営を行い、東部地域における家畜排せつ物による地下水への窒素負荷の削減や家畜の飼養に伴う臭気の発散を軽減し、周辺環境と調和のとれた畜産業の発展を図っていく。				継続	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
地下水量保全対策経費	・雨水貯留施設助成経費	雨水貯留施設設置に対し助成することにより、雨水の有効利用の促進を図る。	熊本市全域	R3年度から節水対策経費と統合した。	－	－	－	地下水の保全及び水資源の有効利用のため、今後も雨水の有効な活用を市民に呼びかけていく。	継続								無	環境局	水保全課

地下水量保全対策経費	・節水対策経費	市民協働で節水施策を実施し、節水型社会形成を計画的に進めるため、節水市民運動を展開する。また、将来を担う子どもたちに水の学習を通じ、節水意識を定着させ、永続的な節水行動を喚起する。 また、節水対策の一環として雨水貯留施設設置に対し助成することにより、雨水の有効利用の促進を図る。	熊本市全域	2019年度からは2024年度を目標に、市民1人1日あたりの生活用水使用量を改に210ﾘｯﾄﾙと設定し、年間を通した節水市民運動を展開した。特に水使用量の増える7月、8月を「夏季の節水重点期間」として取組を強化した。 また、雨水の有効利用の促進を図るため、雨水貯留施設設置の助成を実施した。	2024年度を目標に、市民1人1日あたりの生活用水使用量を210ﾘｯﾄﾙと設定し、年間を通した節水市民運動を展開する。特に水使用量の増える7月、8月を「夏季の節水重点期間」として取組を強化する。 また、雨水の有効利用の促進を図るため、雨水貯留施設設置の助成を実施する。	5,600	4,900	市民1人1日あたりの生活用水使用量を210ﾘｯﾄﾙと設定し、目標の達成に向け、更なる節水を呼びかけていく。 また、節水対策の一環として、地下水の保全及び水資源の有効利用のため、今後も雨水の有効な活用を市民に呼びかけていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	有	環境局	水保全課

基本戦略4　創る　　生物の生息・生育地（拠点）の創出、生態系ネットワークの向上

Ⅰ 個別の事業ごとの実施状況
1. 生きものの生息・生育地となる緑地の創出
1) 生物多様性の保全に資する緑化の推進（緑化助成制度における生きものの生息・生育環境創出の視点を組み込む検討等）
2) 熊本市らしい緑のあり方や、効果的な緑の創出とネットワークの形成の検討（「森の都」の実現に向けた中心部のコアとなる緑地の創出・拡大の検討等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
		「森の都」の実現に向けた中心部のコアとなる緑地の創出・拡大の検討等	熊本市全域	緑の基本計画に定める緑化重点地区での緑化が推進されるよう、各種補助事業を見直した。	見直した補助事業を活用いただくことで、中心市街地を含む緑化重点地区での緑地の創出を促す。	0	0	令和3年3月に改定予定	―	検討	→	→	→	進捗管理	実施	→	無	環境局	環境共生課
街なかの緑創出事業	緑化推進経費	・つながり森づくり事業 個人住宅や共同住宅又は、事業所に樹木、生垣の植栽を行う民有地の緑化に対して助成を実施。	熊本市全域	補助要件及び補助単価について、市民や事業者が積極的に活用しやすい制度へと見直しを行い、より効率的に民有地の緑化を推進していく。 補助の対象は、引き続き事業所・住宅・生垣植栽を予定。	補助要件等の改正により、わかりやすく、活用しいやすい制度となったため、さらにPRに力を入れ、申請増を図っていく。また、緑の基本計画に規定する緑化重点地区への補助を強化したため、重点的な民有地緑化を推進していく。	3,500	3,500	引き続き、事業のPRを積極的に行い、生き物の生息・生育地となる緑地の創出に努める。	継続	→	→	→	→	→	→	→	800㎡（緑の創出）	環境局	環境共生課

2. 生物多様性に配慮した整備の推進
1) 生物多様性に配慮した整備・管理手法の検討（緑化手法ガイドライン等の検討等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
		緑化手法等含めた緑の整備・管理手法の検討	熊本市全域	改定した緑の基本計画について、事業の進捗状況の評価等を行うための事前調査を行った。	緑の基本計画推進委員会を開催し、進捗状況の評価や見直し等を行う。	0	0	令和3年3月に改定予定	―	検討	→	→	→	施策実施	→	→	無	環境局	環境共生課

2) 生物多様性に配慮した整備や再整備、管理の推進（多自然川づくりの推進、生物の生息・生育地を保全する農地・用水路の管理、公園などの整備等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
環境に配慮した河川整備の推進	広域河川整備経費	一級河川健軍川、藻器堀川、鶯川の改修にあたり、多自然川づくりを実施している。	藻器堀川（八反田3丁目付近） 鶯川（東野2丁目付近）	藻器堀川、鶯川において環境に配慮した河川改修を実施した。	健軍川、藻器堀川、鶯川において、河川環境に配慮した河川改修を実施予定。	124,000	125,000	事業計画に基づき、河川環境に配慮した河川改修を実施する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	都市建設局	河川課
環境に配慮した河川整備の推進	準用河川改修事業（補助）	準用河川旧天明新川の改修にあたり、多自然川づくりを実施している。	旧天明新川河川区域（南区御幸木部1丁目地先～良町4丁目地内）	準用河川旧天明新川において環境に配慮した河川改修を実施した。	準用河川旧天明新川において、河川環境に配慮した河川改修を実施予定。	90,000	93,000	事業計画に基づき、河川環境に配慮した河川改修を実施する。	継続	継続	継続	継続	→	→	→	→	無	都市建設局	河川課
環境に配慮した水路整備の推進	一般土地改良経費（政策）	水路改良工事において、柵渠や魚巣ブロック等による生態系に配慮した製品の使用を推進している。	熊本市全域	水路整備の実施においては、生態系に配慮した製品（魚巣ブロック・柵渠等）を用いて整備を実施	水路整備の実施においては、生態系に配慮した製品（魚巣ブロック・柵渠等）を用いて整備予定。	130,941	125,960	必要に応じて検討	実施なし	実施	必要に応じて実施	→	→	→	→	→	無	農水局	農地整備課 北東部農業振興センター基盤整備課 西南部農業振興センター基盤整備課
環境に配慮した水路整備の推進	団体営農業農村整備事業経費	水路改良工事において、柵渠や魚巣ブロック等による生態系に配慮した製品の使用を推進している。	熊本市全域	水路整備の実施においては、生態系に配慮した製品（魚巣ブロック、柵渠等）を用いて整備予を実施	水路整備の実施においては、生態系に配慮した製品（魚巣ブロック・柵渠等）を用いて整備予定。	176,763	107,000	事業計画に基づき、生態系に配慮した水路整備を実施する。			必要に応じて実施	→	→	→	→	→	無	農水局	農地整備課 北東部農業振興センター基盤整備課 西南部農業振興センター基盤整備課

基本戦略5　活かす　　めぐみの持続可能な利用

Ⅰ 個別の事業ごとの実施状況
1. 生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした魅力の発信
1) 生物多様性の魅力を市内外に発信（地下水や歴史・文化とともに生物多様性を熊本市の魅力と位置づけ、観光等で内外に発信するなど）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
くまもと水ブランド事業	くまもと水ブランド情報発信経費	本市の財産である水を活かした都市ブランドを形成するため、総合的な情報発信や、水遺産制度の推進を図り、地下水都市・熊本をPRする。	熊本市全域（一部県外）	環境局ホームページ内「くまもとウォーターライフ」や関係部署や機関、新たに企業と連携し、熊本の魅力である地下水を総合的にPRする。 また、第4回アジア・太平洋水サミット（2022.4..23～24開催予定）のプレイベント等を活用し広報事業を展開する。 水検定については、WEB検定を取り入れ、3級検定のみ実施する。また、水の国高校生フォーラムを開催し、水保全活動に取り組む幅広い世代の人材育成を図る。水守に対しても水保全に関する情報提供を行い、水守の活動情報交換の場を設ける等仕組みづくりに取り組む。	「第4回アジア・太平洋水サミット」のアフターイベントの実施など、サミット開催後のレガシーにつなげる。 （株）良品計画と連携し、市民協働での地下水保全の取組を広げる。 くまもと「水」検定については、3級試験は昨年度に引き続きWEB検定を実施するとともに、検定テキストを改定する。 水守に対しても水保全に関する情報提供を行い、水守の活動情報交換の場を設ける等仕組みづくりに取り組む。	2,200	12,300	引き続き、ホームページや各種イベント等での情報発信を行うほか、企業との連携で、地下水都市・熊本の認知度向上を図る。 　関係部署・機関と連携し、県外に熊本の地下水や食、自然などの魅力を発信する。 水保全活動に取り組む人材を育成するため、きっかけとなる検定事業について、受検をPRしていくことが課題。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
くまもと水ブランド事業	くまもと水ブランド担い手育成推進経費	くまもと「水」検定やくまもと水守制度の推進により、水保全活動に取り組む人材を育成し、水を活かした都市ブランドの形成を図る。	熊本市中心（検定・水守は対象エリア限定無し、フォーラムは県内高校生）	R3年度からくまもと水ブランド情報発信経費と統合した。		－		統合事業	継続					統合			無	環境局	水保全課
くまもと水ブランド事業	地下水都市熊本空間創出経費	街なか親水空間、名水百選等の水資源の活用整備を図り、水を活かした都市ブランドを形成する。	熊本市全域	熊本市設置の親水施設（5ヶ所）の維持管理を実施した。また、既存水資源整備について、補助金を交付し、水の魅力を活かした空間整備を行なった。	熊本市設置の親水施設（5ヶ所）の維持管理を実施する。また、既存水資源整備について、補助金を交付し、水の魅力を活かした空間整備を行なう。	4,000	3,800	引き続き親水施設の維持管理にあたり、既存水資源整備についても、景観等の周辺環境整備に対し補助を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	環境局	水保全課
食の販路拡大事業（新生活様式）		本市の魅力である豊かな自然や地下水から育まれた上質な農水産物のPRを効果的に実施する。	市内外	首都圏で期間限定アンテナショップを展開し熊本産品の販売や、飲食店を活用しバイヤー向けのトッププロモーションを実施。	イベントやSNS等を通じ熊本の農水産物の魅力を発信しPRを実施。また、海外事業において、輸出展開に向けたワンストップの相談窓口を設置。	29,600	40,900	引き続き、イベントの機会やホームページ等での発信を通して、豊かな自然に育まれた上質な農水産物の魅力発信を行っていく。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	農業政策課（農水ブランド戦略室）
地産地消事業（新生活様式）	直売所の利用促進事業 地産地消フェア開催経費	直売所アプリを消費者に向けてPRし、直売所の利用を促進することで地産地消を推進する。 　また、地産地消フェアを開催することで、農水産物の魅力をPRし、地産地消を推進する。	市内外	生産者が消費者に向けて出荷情報等をリアルタイムで発信するアプリを導入。 　また、オンライン販売や対面式の地産地消フェアを開催し、農水産物の魅力をPR。	令和3年度に整備した直売所アプリのダウンロードを促す広報を実施。 また、対面式の地産地消フェアを複数回開催し、農水産物の魅力をPRする。	25,400	5,300	直売所の利用促進につながる取組や地産地消フェアの開催を通して、豊かな自然に育まれた上質な農水産物の魅力を発信し、地産地消を推進する						実施	→	→	無	農水局	農業政策課（農水ブランド戦略室）

2. 生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした地域づくりの推進
1) 生物多様性とかかわる湧水、地形、歴史・文化など地域の魅力の発掘とこれらを活かした地域づくりの推進
（地域の魅力発掘ワークショップ等、竹林対策と資源の有効活用の検討、フットパス等の資源を活かした地域づくり・観光（エコツーリズム）等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定） H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
森づくり推進事業		金峰森の駅みちくさ館を核に周辺の観光資源を活用し金峰山一帯の観光レクリエーション及び地域の振興を図る中で、景観、環境づくりを行っている。	河内地区	河内小・芳野小の児童を対象にまちづくり実行委員会と連携して、みちくさ館の横を流れる河内川の生物調査を実施した。 「ホタルまつり」やその他自主事業は新型コロナの影響で中止となった。	これまでの取組に加え、みちくさ館を森林環境教育等の拠点施設とするため条例を改正し、森林の多面的機能等の照会や県産材を使用した木製遊具を設置予定。 また、「ホタルまつり」や自主事業等は、新型コロナの状況を考慮し、開催可否を検討予定。	6,574	6,574	今後も金峰森の駅みちくさ館を核に、金峰山エリアや森林の魅力を広く発信する事業に取り組むことで地域の振興を図るとともに、市民に森林整備の必要性や木への関心を持っていただくため、新たに森林環境教育や木育関連事業を実施する予定。	継続	→	→	→	→	→	→		無	農水局（R1年度事業移管）	農業政策課（森づくり推進室）
西区魅力アップチャレンジプログラム事業	まちづくり推進経費	熊本地震により大きなダメージを受けた「熊本港」の復旧復興状況をPRするとともに、熊本市西区の「地域の宝」として魅力ある熊本港の利用を促進し、賑わい創出を図る。	熊本市内	熊本市の海の玄関口である熊本港で、子どもから高齢者まで参加でき、西区の自然を身近に感じることができる釣り大会を開催予定だったが、新型コロナウィルス感染症対策のため、中止となった。	熊本市の海の玄関口である熊本港で、子どもから高齢者まで参加でき、西区の自然を身近に感じることができる釣り大会を開催予定。	200	200	3年間のみ負担金を交付予定であるため、その後の事業継続が課題。	－	事業コンテストの開催	釣り大会開催	釣り大会開催	中止	中止	釣り大会開催		無	西区役所	総務企画課
西区魅力アップチャレンジプログラム事業	まちづくり推進経費	・手ぶらで参加できるキャンプを開催。 西区の山の恵みの魅力を発信し、賑わい創出と活性化を図る	金峰山エリア	金峰山少年自然の家の敷地内で、手ぶらで自然に浸り、非日常の空間を味わうことのできるキャンプを開催だったが、新型コロナウィルス感染症対策のため、中止となった。	金峰山で、手ぶらで自然に浸り、非日常の空間を味わうことのできるキャンプを開催予定。	400	400	3年間のみ負担金を交付予定であるため、その後の事業継続が課題	－	－	事業コンテストの開催	手ぶらでキャンプの開催	中止	中止	手ぶらでキャンプの開催		無	西区役所	総務企画課

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
西区金峰山系エリアまちづくり事業	まちづくり推進経費	・金峰山系エリア魅力発信事業 金峰山系エリアの魅力を発信する事業を行政と地域が協働でイベントを実施。	金峰山エリア	継続して11月23日にウォーキングを実施予定。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から今年度から事業終了となった。	今後も新しい生活様式等を取り入れながら金峰山エリアの魅力を発信する事業を継続する予定。	900	0	今後も金峰山エリアの魅力を発信する事業を継続予定。 廃止事業	継続	→	→	→	中止	終了			無	西区役所	河内まちづくりセンター・河内交流室
まちづくり推進事業	南区まちづくり推進経費	・「南区を知ろう」（情報発信・共有）事業 南区の自然・風景・名所・歴史などを掲載した「まち歩き手帖」を活用して、地域の隠れた資源や魅力の再発見につなげる。	南区全域	まち歩き手帖第3版の改訂版を作成予定であったが、コロナ対策に伴う事務事業の見直しを行い、今年度は作成を中止。 引き続き、区役所やまちづくりセンター等で在庫の配布を行った。	まち歩き手帖（たからもの版）を作成予定。	0	884	情報収集のプロセスから、住民と共同でまち歩き手帖（たからもの版）を作成する。	継続	→	→	→	→	→	→		無	南区役所	総務企画課

2）生物多様性と地下水、歴史・文化を活かした水前寺江津湖公園の利活用のあり方の検討・推進

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
水前寺江津湖公園利活用・保全計画の推進	全国都市緑化フェア開催推進経費	水前寺江津湖公園の利活用及び保全の方針についてまとめた計画を推進する。	水前寺江津湖公園一帯	計画に位置づけた個別事業を実施する。		7,800		関係課や関係団体、地域住民との調整、市民全体のコンセンサス形成	中断	素案の作成	協議会立ち上げ	計画の策定	事業実施	→			無	都市建設局	公園課

3．生物多様性と地下水を活かした農林水産業の推進

1）生物多様性や地下水に配慮した農水産業の推進（グリーン農業の推進、漁場環境の保全と資源管理等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりの推進	環境保全型農業総合支援対策経費（環境保全型農業直接支払事業）	化学肥料や化学農薬を5割以上低減する取組等に対する支援	市内全域	地球温暖化防止等に効果の高い環境保全型農業に取り組む農業者に対して支援を行う。 化学肥料や化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とあわせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援した。	化学肥料や化学合成農薬を原則5割以上低減する取組とあわせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を支援する。	7,536	7,901	継続した支援を行うことで、環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりを推進する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	農業支援課 北東部農業振興センター農業振興課 西南部農業振興センター農業振興課
環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりの推進	熊本市夢と活力ある農業推進事業（安全安心・環境対策支援事業）	化学肥料や化学農薬低減技術への取組に対する補助	市内全域	市独自事業「熊本市夢と活力ある農業推進事業」を活用し、天敵農薬等の生物農薬の導入、有機JASや各種GAPの認証取得等の取組を支援することで、化学合成農薬及び化学肥料の削減を推進した。	市独自事業「熊本市夢と活力ある農業推進事業」を活用し、天敵農薬等の生物農薬の導入、有機JASや各種GAPの認証取得等の取組を支援することで、化学合成農薬及び化学肥料の削減を推進する。	30,700の内数	30,700の内数	継続した支援を行うことで、環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりを推進する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	農業支援課 北東部農業振興センター農業振興課 西南部農業振興センター農業振興課
環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりの推進	熊本市夢と活力ある農業推進事業（環境対策整備事業）	土づくりや堆きゅう肥の製造・利用拡大等を目的とした施設機械導入に対する補助	市内全域	市独自事業「熊本市夢と活力ある農業推進事業」を活用し、堆きゅう肥の製造や利用拡大を目的とした施設機械の導入を支援することで、土づくりや堆きゅう肥の製造・利用拡大を推進した。	市独自事業「熊本市夢と活力ある農業推進事業」を活用し、堆きゅう肥の製造や利用拡大を目的とした施設機械の導入を支援することで、土づくりや堆きゅう肥の製造・利用拡大を推進する。	30,700の内数（再掲）	30,700の内数（再掲）	継続した支援を行うことで、環境に配慮した農業及び安全・安心な農産物づくりを推進する。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	農業支援課 北東部農業振興センター農業振興課 西南部農業振興センター農業振興課

2）生物多様性や地下水とのつながりをアピールした地元農水産物のブランド化及び地産地消・消費拡大の推進（グリーンツーリズム、6次産業化による消費拡大の推進等）

事業・取組	細事業	事業・取組の内容（概要）	実施エリア	R3年度の実施状況	R4年度の実施予定	R3事業費（千円）	R4予算内示額（千円）	課題・今後の見通し	今後のスケジュール（予定）H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	数値目標（別途あれば）	局	課
まちづくり推進事業	まちづくり推進経費	・子ども農山漁村交流事業 小中学生の子どもたちを対象に宿泊体験教室を活用した地域文化体験や農業体験を実施し、西区農産物の魅力の情報発信につなげる。	西区	まちづくり推進事業として西区フェスタを実施する中で、地元農産物の消費拡大、情報発信のために農産物等を販売する。 当該事業の枠組みではないが、子どもたちに地元農水産物の理解を深めてもらうためみかん収穫体験、JA選果場の受入れやみかんなどの直売をJAと連携して実施。	まちづくり推進事業として西区フェスタを実施する中で、地元農産物の消費拡大、情報発信のために農産物等を販売する。（3月中旬実施予定） 当該事業の枠組みではないが、子どもたちに地元農水産物の理解を深めてもらうためみかん収穫体験、JA選果場の受入れやみかんなどの直売をJAと連携して実施している。	0	0	西区フェスタでの農産物等の販売は継続していく。 当該事業の枠組みではないが、JAと連携したみかん等の直販及び子どもたちにみかんの学習をしてもらうために県・JAと連携した選果場の受入れを継続していく。	実施	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	西南部農業振興センター農業振興課
水産業地域交流促進事業	市民と水産業の交流促進事業	・水産物フェアの開催 本市の水産物（ノリ・アサリ・ハマグリ等）の認知度向上と消費拡大を図る。	びぷれす広場	コロナ禍の終息を確認後、例年並みの事業を実施する予定。	コロナ禍の終息を確認後、例年並みの事業を実施する予定。	637	637	漁業後継者主体の事業展開を図るために、開催時期をノリ養殖業の閑期である5～6月頃に変更する予定としていたが、コロナ禍の影響により延期、中止となった。現時点では、来年度の開催時期を見極めることが困難なため、改めて関係機関及び他部署との調整後、開催時期を決定する予定。	継続	→	→	→	→	→	→	→	無	農水局	水産振興センター